

新着本・図書館最新情報通信

司書だより (金の壺)

2023年6月 NO.3 松江市立皆美が丘女子高等学校図書館

総体、お疲れ様でした。女子高パワーを出した日々だったと思います。生活の変化、気温の変化に体調を崩しやすい毎日ですね。読書が好きな人も、あまり読まない人も、気分転換に図書館に来てゆっくり本を読んでみてください。集中して本が読めた時、とてもすっきりした気持ちになりますよ！
図書館で、ゆっくり過ごしてみたいはかがですか。

♡読書感想文 課題図書の本 (3冊) ♡



夏休み課題に、早くから取り掛かろう！読書は時間がある今やろう！

「ラブカは静かに弓を持つ」

(安壇美緒)

みどころ：少年時代に心に傷を負い、深海魚の一種・ラブカのようにひっそり生きてきた青年が、上司から音楽教室への潜入調査を命じられる。身分を偽り通い始めた教室で師や仲間と出会い、チェロを奏でる歓びに目覚める！

選定理由：主人公の目や耳を通して、音楽の本質に読者に触れてほしい。また音楽を通して変化していく、主人公の苦悩や想いを読者に感じ取ってほしい。

「タガヤセ！日本：「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます」

(白石優生)

みどころ：農業ってこんなに面白い！若き官僚 YouTuber として多くのメディアにも登場する著者が、最新の農業から、実はすごい日本の農作物のこと、さらには日本の農業の未来までを語る1冊。

選定理由：農業を新しい視点で見つめなおし、その技術力や生産力が進化していることを知ってもらいたい。食料自給率ばかりが問題とされがちな昨今、新しい視点で農業を考えてもらいたい。

「昆虫の惑星：虫たちは今日も地球を回す」

(アンヌ・スヴェルトルップ=ティーゲソン)

みどころ：虫が苦手という人は多いが、虫の世話になっていない人は地球に1人もいない。あなたの知らないところで黙々と仕事をしている昆虫たち。ノルウェーの女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へと誘う。

選定理由：女性科学者による本書は、理系女子の励みにと期待を込めて選定。地球環境の激変が心配される中、昆虫保護の視点からも高校生がさまざまな考えをめぐらすことができる。

新着本

「# 真相をお話します」(結城真一郎)

小細工一切なし、この違和感を見破れるか。本屋大賞ノミネート作。

「あやかしの花嫁」(クレハほか)

鬼・龍・狐・鳥の4つのシンデレラ物語。「鬼の花嫁」もぜひ一緒に読んでみて!

「北欧女子オーサ、日本で恋をする。」(オーサ・イェークソトロム)

シリーズ全部あります!スウェーデン人漫画家が、国際恋愛をマンガで描く!

「# 秋山動物園」(秋山寛貴)

お笑い芸人ハナコの秋山による、初のイラスト集!見るだけで癒される!

「帰ってきた生協の白石さん」(白石昌則)

令和の現役大学生の質問に、平成のアラフォー大学生がゆるく回答。くすっと笑えて納得!

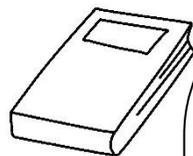
「とことんざんねないきもの事典」(今泉忠明)

最新刊!ミミズは黒いほうにいく、しかも見えてるわけではない・・・。

「東京ディズニーシー完全ガイド2023-2024」

研修旅行に行く人におすすめ。

「朝日ジュニア学習年鑑2023」(朝日新聞出版)



保育検定で必要な「絵本」、今月もたくさん入荷しました!

「パンどろぼう」(柴田ケイコ)今日もパン屋へ忍び込む!
「おふろだいすき」(松岡享子)ぼく、おふろ大好き!
「おおかみと七ひきのこやぎ」(フェリクス・ホフマン)
お母さんの留守中におおかみがやってくる。

「おしゃべりなたまごやき」(寺村輝夫)たまごやきがしゃべる!?

「ごんぎつね」(新美南吉)病気の母親のためにとったうなぎを奪ったぎつね。そのつぐないと結末に涙。

「てぶくろ」(うちだりさこ/やく)おじいさんが落とした手袋を拾ったのは動物たち。

「ごちゃまぜカメレオン」(エリック・カール)カメレオンが自由に姿を変えられるようになった!

「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」(バージニア・リー・バートン)逃げ出した機関車の行方は!?

「かもさんおとおり」(ロバート・マックロスキー)鴨たちの大移動、うまくいく!?

「マーシャとくま」(うちだりさこ/やく)くまの家で生活したくないマーシャが動く!

